

調査報告

議会広報委員会

一、委員会招集月日

平成20年11月26日～27日

二、調査場所 群馬県大泉町

三、調査に当たった委員

委員長 吉田 伸

副委員長 鈴木 一夫

委員 竹元 孝夫

委員 栗崎千代松

委員 青山 英樹

委員 鈴木 隆司

群馬県大泉町議会では議会の活性化、運営の円滑化を図るため平成17年5月から会派制を導入、12月から対面方式による一般質問の実施によりながら、全国町村議会議長会の主催する議会広報の全国コンクールで入選するなど多くの実績を残している。大泉町には、三洋電機㈱、富士重工㈱、凸版印刷㈱、味の素冷凍食品㈱などの主要企業、電気、自動車工業が中心の町であります。6千人を超す外国人が在住しており、南米系の日系人が多く生活しております。議会広報の編集体制であります。議会広報調査特別委

員会8名と事務局による共同体制の編集作業が基本で4年の任期となっております。なお大泉町の編集特徴は、一般質問が「質問と答弁」の原稿を作成、読者の関心を引きつけるために、見出し、写真記事、余白は気にしないでその配置、大きさなど、変化に富んだ紙面づくりを考えています。特に教育委員会、中学校の協力により「ほのぼの家族」と題した保育園児家族の紹介や中学生による「ボクの声、わたしの声」を連載するなど、又「一般質問の追跡調査」と題した過去の質問がどうなったかを追跡してあります。まさに町民に議会活動の状況や行政の動きを広く知って読まれる広報誌を目指しております。

議会運営委員会

一、委員会招集月日

平成20年12月1日～2日

二、調査場所

岩手県住田町（役場）

三、調査に当たった委員

委員長 熊田 宏

副委員長 諸根 重男

委員 大木 義正

委員 鈴木 一夫

副議長 栗崎千代松

住田町は、昭和30年に上住村、下有住村、世田米町の3町村が合併して住田町として発足した町であります。岩手県の東南部に位置し、平成20年9月末現在人口658人の少子高齢化が顕著となっている。「豊かな水と緑、あふれる活力、心ふれあう山村すまいた」の将来像を目指し地域独自の個性ある町づくりに取り組んでおります。今回の目的は、議会主催による住民懇談会、議会報告会の取り組みについての研修です。各地域の公民館において、希望する地区の住民と議員の懇談会を開催しております。開催の効果としては、住民側からすれば、町政を考える上で議員の考えが聞ける機会であり、議会側からすれば地元以外の住民の声を聞ける、町全体を見渡せる機会になり、

議員としてレベルアップになるものと思われれます。平成19年度は、15自治公民館で実施。出席者は総数で19名（会場12名）、この調査報告です。矢吹町においても、さらなる検討を進め議会の活性化に進んでいくべきものと考えています。



人事紹介



教育委員会委員

氏名 岩谷 和夫
住所 矢吹町中町230番地
生年月日 昭和22.2.15



教育委員会委員

氏名 平賀 優子
住所 矢吹町曙町263番地
生年月日 昭和22.5.7

発行／福島県矢吹町議会 議長 柏村 栄

編集／議会広報編集委員会 昭和52年6月1日創刊

お待ちしております！ ぜび、議会の傍聴を!!

第346回定例会は
3月13日(金)午前10時開催予定
一般質問は
3月16日(月)・17日(火)の予定

詳しくは町議会事務局(☎42-2118)にお問い合わせ下さい。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

今年の干支は「己丑(つちのと・うし)」。字義に鑑みると「生い茂った草木が剪定され形が整い、次の芽生えの準備ができる」年だそうですね。大変厳しい経済情勢に直面しているところではありますが、次の飛躍のための基盤を形成する年と捉えていきたいものです。最後に、今年一年の町民の皆様のご健勝と矢吹町のさらなる発展をお祈り申し上げます。(文責 鈴木隆司)

委員長 吉田 伸
副委員長 鈴木 一夫
委員 栗崎千代松
委員 竹元 孝夫
委員 青山 英樹
委員 鈴木 隆司



平成21年度の議会広報委員です。1年間よろしくお願ひします。